

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報

第四百五十五號

明治卅八年七月十二日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第三十一號

明治三十七年六月縣令第三十九號軍籍コアル者召集中俸給支給規程中第一條ヲ左ノ通改正ス

明治三十八年七月八日

和歌山縣知事 伯爵 清 榊 家 教

第一條 縣費ヨリ俸給又ハ給料ヲ受クル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ陸海軍ニ召集セラレタル場合俸給支給方ハ別ニ規定アルモノヲ除ク外本令ニ依ル

○和歌山縣令第三十二號

本年六月本縣令第二十八號ハ本日限リ廢止ス

明治三十八年七月十一日

和歌山縣知事

伯爵 清 藤 家 敬

和歌山縣令第三十二號參照

本年六月本縣令第二十八號ハ顯疫豫防ニ關スル件ナリ

○和歌山縣訓令第六號

明治三十五年九月本縣訓令甲第六十三號和歌山縣旅費規則乙號表中土木工師ノ下へ左ノ一欄
ヲ追加シ明治三十八年八月一日ヨリ施行ス

明治三十八年七月十一日

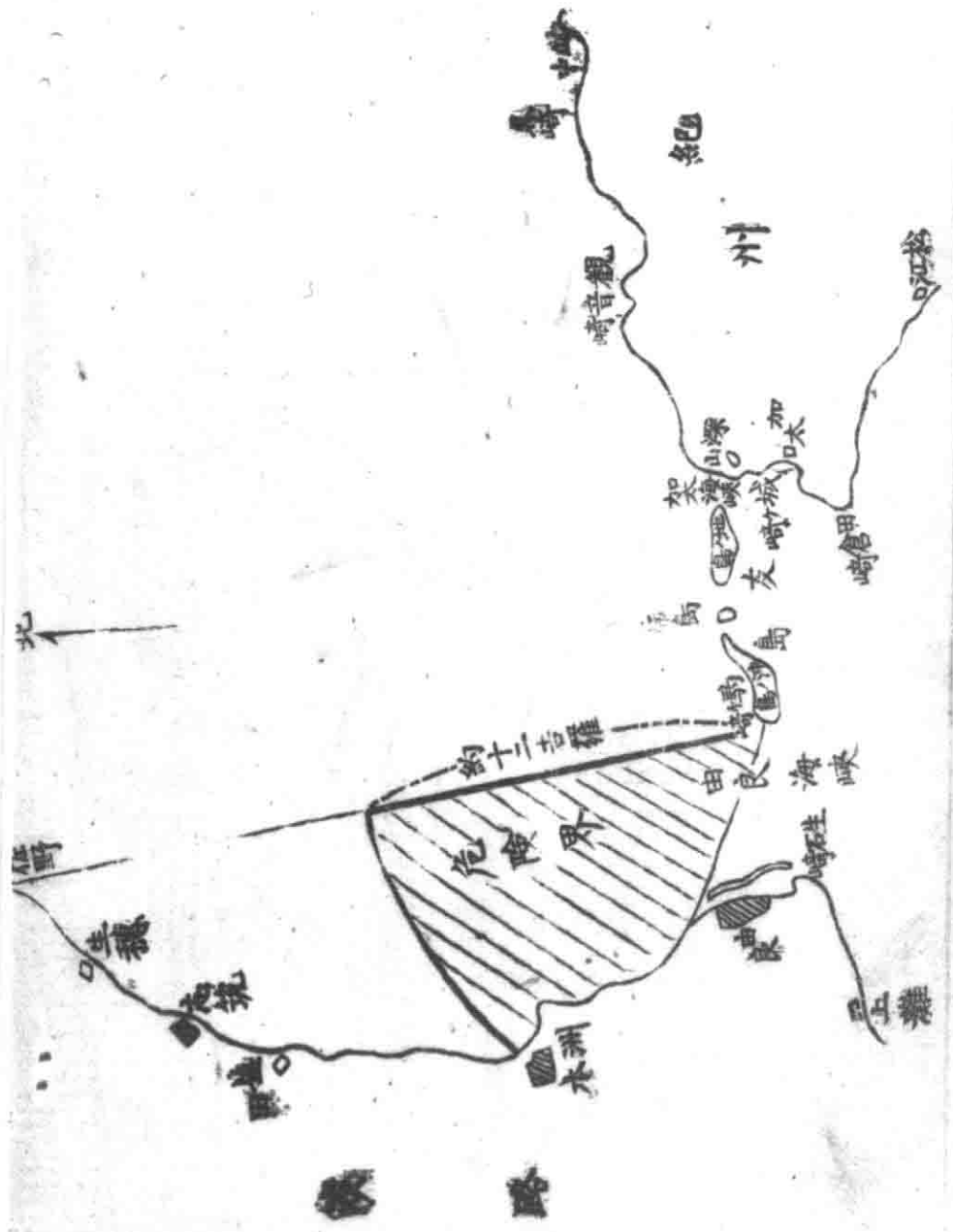
和歌山縣知事

伯爵清樓家 敬

工區出張所主任

金壹圓

廳 中 一 般
部 役 所
警 察 署
同 分 署
縣 立 學 校
水 產 試 驗 場
地 方 測 候 所
物 產 陳 列 場



縣報第四百五十五號

明治三十八年七月十二日

第三種郵便物認可

四

○和歌山縣告示第六十三號

本月十三十四ノ二日間(雨天順延)紀淡海峽ニ於テ實彈射擊施行セラルヘキニ付左記略圖ニ示シタル海面ニ對シ危險ノ虞ナキ様警戒スヘシ
但シ射擊當日ハ發射門發射砲臺ニ赤旗ヲ植立セラル
明治三十八年七月十日
和歌山縣知事 伯耆清俊家 啟

○和歌山縣告示第百六十四號
 本年六月本縣告示第百五十七號中那賀郡於ケ、營業ノ目的ニ使用スル度量衡器ノ臨檢期
 間ヲ左ノ通り變更ス

自九月十二日 四十二日間
 至十月二十三日

明治三十八年七月十一日 和歌山縣知事 伯爵 濱 棧 家 牧

○和歌山縣告示第百六十五號

左記ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登録ヲ取消ス

明治三十八年七月十一日 和歌山縣知事 伯爵 濱 棧 家 牧

西牟婁郡南富田村大字榮百四拾二番地
 開業產婆 田 端 も せ

東牟婁郡新宮町七千三百六十九番地
 開業產婆 神 村 り え

正 誤

本年五月三十一日本縣告示第百三十四號ノ表中海草郡山口村大字落合字村ノ内トアルハ南

縣報第四百五十五號 明治三十八年七月十二日 第三種郵便物認可 五

山ノ誤、全郡全村大字北別所字瀧ノ口トアルハ八王子ノ誤
 明治三十八年七月八日 和歌山縣

○觀 測

明治三十八年七月七日ヨリ三日間當地氣象概況

種 類	七 月 七 日		七 月 八 日		七 月 九 日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七五七毫〇	七五八毫六	七五二毫四	七五九毫〇	七四四毫三	七五八毫七
平均氣温	二六度六	二五度〇	二七度二	二五度一	二六度〇	二五度一
最高氣温	三〇度八	二七度七	三三度二	二八度〇	二九度〇	二八度〇
最低氣温	一二度〇	一二度三	一二度二	一二度一	二四度三	二一度四
最多風向	西北西	南西	東	南西	東	西南西
平均風力	二米五	三米〇	三米〇	三米〇	三米八	二米九
天 氣	晴	快晴	半晴	快晴	雨又曇	快晴

